

沼田市りんご組合「雪んこりんご」

冬眠からお目覚め

沼田市りんご組合は4月17日、玉原高原で「雪んこりんご」の掘り出し作業を行いました。1月中旬から雪の中で冬眠していた626コンテナ（約2万5千個）の「雪んこりんご」は、季節外れの味わいとして人気が高く、各農家の直売所やJAの直売所などで販売されます。リピーターも多く4月中に完売してしまう売店もあるとのこと。



掘り出された「雪んこりんご」

利根沼田農協ナス部会

部会設立 販売強化を図る

JAは3月23日、営農経済総合センターで利根沼田農協ナス部会の設立総会を開催し、生産者やJA職員ら合わせて29人が出席しました。

利根沼田産ナスの生産技術並びに品質向上と、協同活動の強化による農業所得の増大と農業経営の安定を図ることが目的です。部長に選任された松村正浩さんは「利根沼田産ナスの発展のため、精一杯取り組みたい」と意気込みました。



議案を協議する生産者

片品村尾瀬トマト部会

通常総会と講習会を開催

片品村尾瀬トマト部会は4月10日、片品トマトセンターで通常総会を行い、部会員や関係者ら48人が参加しました。令和7年度の事業報告や収支決算、令和8年度の事業・収支計画などが協議され全ての議案が承認されました。総会終了後には、利根沼田農業事務所による、雨よけトマト栽培講習会が行われました。今年度の栽培にむけて、高温対策や誘引方法などについて学びました。



挨拶をする綿貫常務

JA利根沼田×群馬県警

園児が楽しく交通ルールを学ぶ

JAと群馬県警は4月17日、かわば森のこども園で交通安全教室を開きました。3～5歳の園児52人が参加し、横断歩道の正しい渡り方や交通安全について学びました。園庭では横断歩道を渡る練習が



横断歩道の渡り方を練習する園児

行われ、学んだことを早速実践していました。また、パトカーと白バイの乗車体験もあり、園児たちは時折歓声を上げながら貴重な体験を楽しみました。

JA利根沼田フキ部会

出荷最盛期に備えて

JA利根沼田フキ部会は4月7日、南部支店で統一目ぞろえ会を開き、部会員やJA担当者、市場関係者ら26人が参加しました。市場関係者は市場情勢を報告。またラップ巻きの実演や高温対策の講習も行われ最盛期に備えました。今年度の出荷は4月上旬から始まり中旬にピークを迎え、5月いっぱいまで続く予定です。



ラップ巻きをする部会員と市場関係者

JA利根沼田こめ生産部会通常総会

JA米の栽培に向けて

JA利根沼田こめ生産部会は3月23日、本店で令和7年度通常総会を開きました。部会員や関係者ら46人が参加し、全ての議案が承認されました。総会終了後には、ドローンによるピンポイント散布の説明や、利根沼田農業事務所による高温対策について講習が行われ、部会員は来作に備えました。



高温対策について説明する担当者